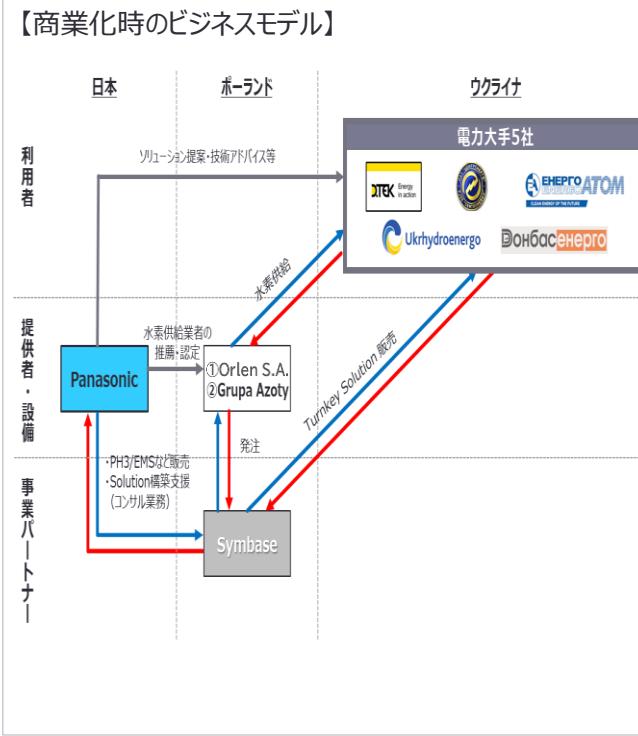


事業計画書概要

令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業（ウクライナ復興支援・中東欧諸国等連携強化）

事業名	ポーランド共和国 / Turnkey Solution実証事業（即応型・可搬型コンテナ電源ビジネス）
企業名	パナソニック 株式会社
企業規模	中小企業・中小企業以外
事業形態	FS実証事業 / 実証事業
事業分野	①情報通信 / ②エネルギー / ③交通 / ④都市基盤 / ⑤医療 / ⑥介護ヘルスケア / ⑦農業・食品 / ⑧廃棄物処理 / ⑨デジタル・プラットフォーム / ⑩その他
事業規模	事業費総額：246.7百万円 / 補助対象経費総額：226.6百万円 / 補助金申請額：113.3百万円

事業概要



ウクライナ復興への貢献

- 本事業は、ロシアとの戦争により大きく損傷したウクライナの電力インフラに対し、即応性・再配置性に優れた代替電源を提供することで、医療・通信・避難所等の重要な拠点への電力供給を早期に実現。さらに、脱炭素・再エネ対応の観点から、将来的な持続可能なエネルギー社会の構築にも寄与し、復興と同時に未来志向の社会基盤整備を支援する。

【目的】

- 本事業は、戦時下・戦後復興期のウクライナにおいて、電力インフラの早期再建と持続可能なエネルギー供給を実現するため、即応型・可搬型コンテナ電源（Turnkey Solution）の実証を行うことを目的とする。高効率な水素燃料電池とエネルギー・マネジメント・システムを統合し、即応性・再配置性・再エネ対応を備えた電源ソリューションの有効性を検証する。

【実施内容・方法】

- ポーランドに建設する実証施設にて、水素燃料電池等を搭載したコンテナ型電源の運転を行い、発電効率や環境耐性、可搬性・運用性などを評価する。さらに、現地パートナーのSymbase社と協働し、O&M体制の構築や顧客ヒアリングなどを通じて、商用化に向けた機器・システム、体制の最適化を図る。

【主な技術・サービス】

- 水素燃料電池×コンテナ+EMSの統合価値サービス**
「脱炭素・分散型・レジリエンス」を同時に実現する統合エネルギー・ソリューション
 - ①戦時・災害対応型エネルギー供給：即応型・可搬型のコンテナ電源を提供
 - ②環境価値の最大化：再エネ+水素によるゼロエミッション運用
 - ③経済性の向上：EMSによるピークカットで電力コストを最適化

【スケジュール】

- 交付決定日～2年間を想定

